

2024年7月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+13.7	大 宮 店	△7.6
堺 店	△4.3	柏 店	※2 △9.0
京 都 店	※1 +14.4	E C 店	+3.7
泉 北 店	△6.0	(株)高島屋各店計	+7.4
日 本 橋 店	+6.2	岡 山 高 島 屋	△13.2
横 浜 店	+4.5	岐 阜 高 島 屋	+86.7
新 宿 店	+12.3	高 崎 高 島 屋	△0.6
玉 川 店	△2.1	国 内 百 貨 店 計	+8.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+17.2%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+8.1% 2019年比+15.7% 2018年比+14.4%といずれも上回りました。

国内顧客は、婦人ブラウス、パンツなどの夏物衣料(正価品)や旅行用品に動きが見られました。

また、インバウンドは、引き続きラグジュアリーブランドを中心とする高額品が伸長し、全体を押し上げました。

店頭売上高 前年比+8.1% 2019年比+12.2% (※+15.7%) 2018年比+10.7% (※+14.4%)

免税売上高 前年比+82.9% 2019年比+147.8% (※+148.3%) 2018年比+146.9% (※+147.7%)

免税を除いた店頭売上高 前年比+0.9% 2019年比+2.5% (※+5.8%) 2018年比+1.1% (※+4.6%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、EC店、岐阜店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、スポーツ、リビングが前年実績を上回りました。

以 上